

日本版穴性（穴位効能）作成の穴性案と方法案

渡邊大祐

沖縄統合医療学院中医学研究室室長・鍼灸学科 専任教員

筑波技術大学保健科学部鍼灸学専攻 客員研究員

天津中医薬大学針灸標準化研究所 客員研究員

穴性（穴位効能）の統一見解は日本国内だけでなく中国においても未だ存在しない。中国の経穴・針灸専門書籍における普遍的な穴位効能を調査して日本版穴性案のひとつとし、穴性作成の方法案を示し日本版穴性（穴位効能）作成に資する。

I 穴性案

中国の医学界で認知されている普遍的な穴位の効能を調査するため、穴位効能表記のある中国現代著作を対象に穴位効能表記の集計を行い、各穴位の常用効能を明らかにする。

1 研究対象と検索範囲

1.1 研究対象 上下肢の重要穴である十二経脈の五腧穴（五行穴）・原穴・郄穴・絡穴および三陰交穴の91穴。（予備調査として中国知網 <http://www.cnki.net/>にて1979-2012年に発表された論文から、十四経穴の単穴使用臨床研究論文数を調査した結果、三陰交穴の論文数が上下肢穴位中足三里・内関・合谷・湧泉穴に次いで5番目に多かったため、重要穴と判断した。）

1.2 検索範囲 中国天津中医薬大学図書館の蔵書62万冊中、穴位の効能記載がある経穴専門書籍および針灸専門書籍37部（1978-2010年出版）。

2 方法

2.1 集計方法 データベースを構築し、37部の各穴位効能表記を入力する。各穴位の効能表記を最小単位に分解して（例：止咳平喘→止咳、平喘）、同義の効能表記を統合し（例：鎮痛3、止疼1、止痛5→止痛9 [止痛、鎮痛、止疼：5, 3, 1]）、効能表記の出現回数を集計する。

2.2 各穴位の常用効能（穴性案） 各穴位の代表的な効能を確定するため、各穴位の効能表記およびその出現回数を出現回数順に並び換え、各穴位5項の常用効能を導き出す。

3 結果

対象91穴それぞれ上位5項の常用効能（穴性案）を得た。以下に例として孔最穴・足三里穴の常用効能を示す。

	常用効能
孔最	清熱・止血・潤肺・利咽・解表
足三里	扶正・健脾・通經・和胃・活絡